

～国際機関で働いてみませんか？～
国際熱核融合実験炉(ITER)機構職員の公募に関する説明会
(第 19 回 ITER 機構職員募集説明会 Q & A)

1. 日時 2009年2月6日(金) 18:30～20:30
2. 場所 産業技術総合研究所つくば本部、共用講堂多目的室
3. 主催:産業技術総合研究所 能力開発部門 人材開発企画室
4. 出席者 12名 (説明会の様子は、添付写真を参照)
5. 説明内容
 - 1) ITER 計画の状況、
ITER 計画における日本の貢献
ITER 機構の職員公募の状況
芳野隆治 ITER プロジェクトユニット長
 - 2) ITER 機構職員公募の面接試験について(模擬面接ビデオの紹介)
安東俊郎 ITER 協力調整 Gr サブリーダー

6. Q&A

Q1: ITER はこれまでに設計や研究開発が行われてきて、これから建設10年、運転20年という長期プロジェクトですが、建設フェーズにおいてもまだ課題が残されていますか？ また、建設フェーズから運転フェーズへ移行するときに、ITER 機構職員の職務の内容や採用の期間はどのようなのでしょうか？

A1: 1990年代から ITER は工学設計や研究開発を行い、主要な機器が製作可能であることを実証しました。しかし、建設フェーズへ移行し、実際に機器の製作を始めるに際し、合理的なコストで製作するためには、詳細な製作技術や品質管理について、実機製作前に確認しなければならないことはまだあります。

また、職員として採用される時の契約期間は最長5年となっています。定年は職員規則にはありませんが、いちおうの目安は65歳とされています。契約の延長もできますので、建設期間から運転期間まで ITER の仕事をすることは可能です。現在の公募の対象は主として ITER 施設の建設を担う技術者ですが、運転フェーズでは、プラズマ物理の研究者やテストブランケットの研究者、装置を運転する技術者などが求められるようになります。このようなITERの運転を通して、次の段階の核融合原型炉へ向けた技術の蓄積および人材の育成が重要です。若い人たちにぜひ挑戦していただきたいと思います。

Q2: 支援職員は具体的にどのようなことをするのですか？

A2: 支援職員は、例えば秘書などの一般事務、各種計算コードの開発・整備、CAD デザイン、情報技術システムの管理、専門職員のアシスタントといった職務になります。現在日本人の支援職員は、CAD デザイナーが3人、事務職が1名、採用内定者が2名となっています。JAEA の ITER 那珂の HP に、これまでに募集されたポストと職務内容の一覧表がありますので、参考にしてください。

<http://www.naka.jaea.go.jp/ITER/recruit/Jobcode.html>

以上



2 月 6 日産業技術総合研究所で開催された ITER 機構職員募集説明会の様子